

千葉市で観る!聴く!楽しむ!文化情報誌 “あでるは”

@culturechiba

千葉市文化振興財団
<https://facebook.com/c.c.f.c.p>



Vol.422

Adelta

インタビュー

〈写真家〉

森下大輔

見たことのない世界を感じて
「写真」のなかで遊んで欲しい



MUSIC

ART

EVENT

多様性が生み出した「アメリカ音楽」の魅力

“ジャズ”

千葉市内のイベントスケジュール



森下大輔

写真家／もりただいすけ

profile ●1977年愛知県生まれ。静岡大学教育学部中退。2003年東京総合写真専門学校研究科卒。千葉市在住。2007年「コニカミノルタフォトプレミオ大賞」受賞。2021年小笠原敏晶記念財団現代美術作家助成。2022年「第19回千葉市芸術文化新人賞奨励賞」受賞。個展、写真集出版など精力的に活動を続ける。

見たことのない世界を感じて
「写真」のなかで遊んで欲しい

モノクロフィルムで撮った写真を、抽象画のような「作品」に仕上げる
写真家・森下さんに、プロになるまでの道のりや作品への思いを伺いました

写真を撮り始めたきっかけと、写真家になるまでの経緯を教えてください。

高校生のときによく行っていた古道具屋で、古いフィルムカメラを見つけて買ったのが、写真を撮り始めたきっかけです。大学では、写真部に所属し、暇さえあれば写真を撮って暗室に入り、フィルムを現像して焼き付けてという作業を続けていました。そこですっかり写真に魅了され、21歳のときに写真家になると決めて、写真の専門学校に入りました。専門学校を卒業した2年後に、写真家憧れの「銀座ニコンサロン」で初の個展開催が決まり、そこからプロとしての活動が始まりました。

森下さんの作品には、どんな特徴がありますか？

僕の写真は、35mmフィルムよりも少し大きいフィルムを使う「中判カメラ」を使用して撮影します。モノクロフィルムを好んで使い続け、撮影したフィルムを暗室でプリントするという作業も変わらず続けています。

僕の作品は、写実的な写真というよりも、抽象画に近いものなんです。暗室での現像ムラや長時間露光、逆光によるフレアやアウトフォーカスといった撮影方法や現象を積極的に取り入れながら、面白い偶然を待つことで、目に見えているものとは違う世界を生み出し、作品にしています。

写真家としてのテーマのようなものはありますか？

写真のテーマは持たないのですが、「純粋な写真をつくりたい」という思いは、一貫してあります。写真を撮るのではなく、つくっているという感覚です。それは、詩を書くことや絵を描くこと、歌を歌うことや踊ることに近いです。

世界は意味やコードにまみれていますが、僕の作品には読み解くコードがない。意味から外れたものを作りたいんです。作品に個別のタイトルを付けたくないのも、その作品に意味を持たせたくないからです。意味やコードのない、ニュートラルな空間、余白みたいなものを作ることで、観る人を別の真空地帯に連れて行きたい。それを写真で表現するのは難しいことだけれど、そこがまた面白いんです。

森下さんが思う写真の魅力とはなんですか？

写真を撮るときに、自分が空っぽになる瞬間があります。自由になれると感じる瞬間でもあります。2021年に出版した写真集の「Dance with Blanks」というタイトルは、直訳すると「空白と踊る」という意味なんですが、この「空白」は、物事とつながる「世界」のことを指しています。写真を撮ることは僕にとって、「世界とともに踊る」というイメージなんです。それが写真を撮るときに僕が意図することであり、魅力に感じるところでもあります。

写真家として目指すものと、これからチャレンジしていきたいことはありますか？

今撮っている写真もゴールではないと思っているので、この先も着地をしたくないですね。実験と発見を繰り返し、自分でも予想がつかない方に自分を転がしていく努力をしながら、「純粋な写真」を撮り続けるために、ずっと不安定で居続けたいです。

そして、過去にあったできごとにより傷ついた土地や失われた土地を訪れて、自分にしか撮れない写真を撮るうと考えています。ドキュメンタリー写真とは違う視点で撮った写真は、どんなふうに仕上がり、見た人の目にどんな世界として写るのか。自分でも予想しきれない新たな作品作りに取り組んでいきます。

読者のみなさんにメッセージをお願いします。

僕の作品を観てくれるひとには、写真に意味を探ることをせずに、作品そのものを直に見てほしいと思っています。そして、写真が好きなひとだけではなく、絵画や詩、哲学や音楽など写真とはまったく別のジャンルを好きなひとに、作品を見ていただけると嬉しいです。来年1月20日(金)～25日(水)に、千葉市文化センターで個展を開催しますので、ぜひ遊びにいらしてください。



多様性が生み出した「アメリカ音楽」の魅力



「ジャズ」

アメリカ系移民とヨーロッパ系移民が持ち込んだ音楽に、さまざまな国やジャンルの音楽の要素が混じり合った「ジャズ」は、アメリカ音楽の多様性を大いに感じるジャンルです。

人種のつぼニューオリンズで生まれた「ジャズ」

ジャズは、1900年代初頭にアメリカのルイジアナ州ニューオリンズで生まれ、1920年代頃から発展してきた音楽です。18、19世紀と港湾都市として栄えていたニューオリンズには、アメリカ人やイギリス人、先住民、奴隷として連れてこられたアフリカ系アメリカ人、入植者であったフランス人やスペイン人などさまざまな人種が暮らしていました。当然ながら音楽も、ラグタイム、ブルース、スピリチュアル、マーチ、民謡、ダンスミュージックなど、多国籍で多岐にわたるジャンルが存在していました。また、ニューオリンズの黒人法は黒人に諸々の権利を認めており、ほかの都市に比べて人種差別が緩やかで、音楽的にも自由な交流があったようです。それが、ジャズが発展した大きな理由と言えるようです。

ジャズの音楽的な特徴と種類

ジャズという音楽は、アフリカ系アメリカ人の持つリズムに西洋音楽のハーモニーが融合し、「即興演奏」、「バックビート※1」、「スウィング※2」、「ブルー・ノート・スケール※3」、「コールアンドレスポンス※4」といった要素が加わったものです。ジャズの演奏には、ピアノ、ベース、ドラム、トランペット、サクソス、ギターといった楽器を使用し、ボーカルがある曲も少なくありません。

1920年代以降からアメリカでジャズが時代の流行の音楽となり、その後世界に発展していきました。流行の広まりに伴い、その国や地域の音楽文化の影響を受け続けたことから、スウィングジャズ、モダンジャズ、ラテンジャズ、ジャズモード、ジャズファンク、コンテンポラリージャズ、エレクトリックジャズといった多種多様なスタイルのジャズが生まれ、今でも多くのスタイルが存在しています。

※1 4拍子の1拍目と3拍目におくアクセントを、2拍目と4拍目にずらすリズム ※2 ふたつの連続した音符のうち、初めの音符の長さを長めにとり、ふたつめの音符を短くするなどの特徴があるリズム ※3 メジャースケールに3音と5音、7音を半音下げた音を加えた音階 ※4 複数の演奏者または歌手が前者の呼びかけに後者が応答する形でフレーズを継承して演奏・歌唱する楽式



ジャズのミュージシャン

ルイ・アームストロング(1901 - 1971)

ニューオリンズ生まれのアフリカ系アメリカ人のルイ・アームストロングは、凄腕のトランペット奏者であり、ジャズ・ヴォーカルの開祖的なシンガーでもあります。20世紀を代表するジャズマンとしてジャズファン以外にも広く知られており、特徴的なダミ声と明るいキャラクターが愛され、「サッチモ」という愛称で親しまれています。

マイルス・デイヴィス(1926-1991)

独特な音色やアドリブ奏法の追究、エレクトロニックサウンドの導入など、1950年代から一貫してジャズ界をリードしたマイルス・デイヴィスは、トランペッターそしてバンドリーダーとして、ジャズ史上最も重要な人物のうちの一人と言われています。彼を「モダン・ジャズの帝王」と呼ぶ日本のジャズファンやジャズ評論家も少なくありません。



ジャズの名曲

What a Wonderful World(この素晴らしき世界)

ルイ・アームストロングは、数々の名曲を生み出していますが、中でも最も有名な曲が「What a Wonderful World」です。1968年のリリース当初は、アメリカではあまり受けなかったようですが、イギリスでの評価が高く、全英チャート1位を記録しました。1987年にアメリカ映画『グッドモーニング、ベトナム』の劇中歌に起用されリバイバルヒットとなり、日本でもテレビCMや映画にたびたび起用されています。

My Favorite Things

原曲は、ミュージカル映画の名作「サウンド・オブ・ミュージック」の曲ですが、ジャズサクソスの名手であるジョン・コルトレーンがカバーしたことで、ジャズの定番曲となっています。ソプラノサクソスの甘くメロディアスな音色が印象的な1曲です。日本では、「そうだ。京都へ行こう」のキャッチコピーでおなじみのJRのテレビCMで使われており、「ああ!それなら知ってる!」という人も多いのではないのでしょうか。



知識

「ビバップ革命」

1940年代初期に、ジャズ史最大のできごとと言われる「ビバップ革命」が起きた。「ビバップ」というのは、「自由度の高い即興演奏(アドリブやソロ)」、少人数編成、「コード進行に基づく演奏」を大きな特徴とするジャズのスタイルです。

ビバップは、即興演奏が好きなジャズマンたちが、マンネリ化したスウィング・ジャズに飽き、ライブハウスなどの閉店後にジャム・セッションをやることで生まれました。

ビバップの登場は、それまで「大衆音楽・娯楽音楽」とみられていた黒人音楽を、「芸術音楽」と認識させる契機となりました。

※主催者の都合で変更になる場合もありますので、あらかじめお問い合わせください。
 ※時間は開演時間です。 場 = 場所 定 = 定員 ※料金は断わりがない限り前売料金を表示します。
 ※会員 = 「千葉市文化振興財団 賛助会員」を表し、特に表記がない限り前売券のみの割引価格です。
 ※各施設のウェブサイト(ホームページ)も併せてご利用ください。(施設名などでご検索ください。)
 ※★印の催し物は開催館・ホールへお問い合わせください。 ※情報は令和5年1月25日現在のものです。

●新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期となる場合や施設の休館・休止がございます。詳しくは、主催者等に開催・開館の有無をご確認ください。

千葉市民会館

千葉市中央区要町 1-1

☎043-224-2431

<https://www.f-cp.jp/shimin.html>

【大ホール】

★東京フィルハーモニー交響楽団

第 55 回千葉市定期演奏会

2/8(水)19:00

4,500円 会員 4,050円(全席指定)

■第 35 回建国記念の日を祝う

千葉県民の集い

2/11(土・祝)13:00

1,000円(全席自由)

※高校生以下無料

<https://www.211kenkoku.jp/>

【小ホール】

★FOUR SEASON CONCERT

民謡一座～遊～CHIBA★夢ライブ

2/18(土)14:00

1,500円 会員 1,350円

当日 2,000円(全席自由)

★木山裕策と歌声カルテットの

昭和歌謡コンサート

2/21(火)13:00

2,000円 会員 1,800円

当日 2,500円(全席自由)

千葉市文化センター

千葉市中央区中央 2-5-1

☎043-224-8211

<https://www.f-cp.jp/bunka.html>

【スタジオ I】

★アート活動を通じた学びや

場づくりに関わる人のための講座

2/4(土)

①体験 13:00～14:30

②レクチャー 15:00～16:30

無料 定:各 20名

※応募者多数の場合は抽選

※要事前申込(1/20 必着)

千葉市南部青少年センター

千葉市中央区白旗 1-3-16

☎043-264-8995

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/s>

[hogaigakushu/shogaigakushu/na](https://www.city.chiba.jp/kyoiku/s)

[mbuseishonen/newkawa.html](https://www.city.chiba.jp/kyoiku/s)

休:月・祝(月が祝日の場合は火も)

年末年始

★ひな祭りのケーキづくり

2/25(土)13:30～16:00

700円 定:12名(抽選)

小学3年生～中学生

※要事前申込

(2/2(木)～8(水)に電話受付)

千葉市生涯学習センター

千葉市中央区弁天 3-7-7

☎043-207-5823

<https://chiba-gakushu.jp/>

【2F ホール】

★2 月月曜名画座

「死にゆく妻との旅路」

2/6(月)

①10:00～11:55②14:00～15:55

無料 定:各回 300人(先着順)

※上映開始 30分前から会場で

整理券を配布(1人1枚)

★2 月木曜名画座

「逃亡者」

2/16(木)

①10:00～11:40②14:00～15:40

無料 定:各回 300人(先着順)

※上映開始 30分前から会場で

整理券を配布(1人1枚)

【地下 1F 小ホール】

★2 月親子アニメ上映会

①・スプーンおばさん

「ナイスデーはハート型」

「ふしぎオルガンの名演奏」

・年中行事「ひなまつり」

・「雪渡り」

宮沢賢治原作アニメシリーズ

②・スプーンおばさん

「ビーバー消防隊」

「ペアアでダンスを」

「クモのさいばん」

・「どんぐりと山猫」

(原作:宮沢賢治)

2/25(土)

①10:00～11:00②13:00～14:00

無料

定:各回 50人(先着順)

※上映開始 30分前から会場で

整理券を配布

千葉県教育会館

千葉市中央区中央 4-13-10

☎043-227-6141

<http://chibaken-kaikan.or.jp/>

■千葉中央おやこ劇場

小学生以上鑑賞会

宮沢賢治のたからばこ

2/5 (日) 未定 有料

■千葉大学ショパンの会 OB 会
2023 千葉大学ショパンの会
OB コンサート

2/11(土・祝) 未定 無料

■千葉大学アカペラサークル
T.o.N.E 春の祭典 2023

2/25 (土) 未定 無料

青葉の森公園

千葉市中央区青葉町 977-1

☎043-208-1500

<https://www.cue-net.or.jp/kouen/aoba/>

【フィールド教室】

※開催日の1か月前から電話・窓口にて申込受付

★早春のお花見会 ～ウメ観賞会～

2/11(土・祝)13:00～14:30

300円 定:20名

【工作教室】

※開催日の1か月前から電話・窓口にて申込受付

場:つくしんぼの家

☎043-208-1506

★ふわふわペーパーで作る

かわいいおひなさま

2/5(日)

①10:00～11:30②13:30～15:00

500円 定:各回10名

年少～小学3年生

★モヘアの毛糸を使った

ブードルを作ろう

2/26(日)

①10:30～12:00②13:30～15:00

600円 定:各回12名

年長～小学6年生

【緑の教室】

※開催日の1か月前から電話・窓口にて申込受付

場:緑の相談所

☎043-208-1510

★バードウォッチング講座
～冬鳥の観察～

2/18(土) 9:30～11:30

300円 定:24名

千葉県立中央博物館

千葉市中央区青葉町 955-2

☎043-265-3111

<http://www2.chiba-muse.or.jp/>

NATURAL/

開:9:00～16:30(入館は16:00まで)

休:月(月が祝日の場合は翌平日)、

年末年始

料:一般300円 高・大生150円

中学生以下・65歳以上・障害者

手帳等お持ちの方及びその介護

者1名は無料

※生態園は無料

【展示】

★令和4年度 出土遺物公開事業

「柏北部東地区の遺跡展」

1/21(土)～2/26(日)

[ワークショップ] 2/11(土・祝)

10:30～12:30 ※要事前予約

[講演会] 2/19(日)

10:30～15:30 ※要事前予約

★トピックス展

「こんなに変わった植物の分類

-DNAをもとにした新たな系統-

2/4(土)～4/9(日)

★生態園トピックス展

「生態園の意外な動物たち」

2/28(火)～6/4(日)

場:生態園オリエンテーションハウス

千葉市美術館

千葉市中央区中央 3-10-8

☎043-221-2311

<https://www.ccma-net.jp/>

開:日～木 10:00～18:00

金・土 10:00～20:00

休:第1月曜日(祝日の場合、翌日)

年末年始

※詳細はお問合せください。

【企画展】

★没後200年 亜欧堂田善

江戸の洋風画家・創造の軌跡

1/13(金)～2/26(日)

※1/30(月)は休室日

一般1,200円 大学生700円

※小・中学生、高校生無料

★つくりかけラボ 10

原倫太郎+原游 |

RE 幼年期ディスカバリー

1/14(土)～4/2(日) 無料

【常設展】

★千葉市美術館コレクション選

一般300円 大学生220円

※企画展観覧の方は無料

千葉市民ギャラリー・いなげ

千葉市稲毛区稲毛 1-8-35

☎043-248-8723

<https://galleryinage.jp/>

開:9:00～17:15

休:月(祝日の場合、翌平日)

※詳細はお問合せください。

【展覧会】

★創造海岸いなげ展

2/2(木)～2/19(日) 無料

※最終日は15:00まで

場:2階展示室

★近隣学校児童生徒作品展

2/2(木)～2/19(日) 無料

※最終日は15:00まで

場:1階

【市民の展覧会】

■京葉学園絵画クラブ春季作品展

2/21(火)～2/26(日)